

2021年12月

会員各位

## 原稿募集：コロナ禍における保険業の役割と今後の展開（特集）

保険学雑誌編集委員会

来年（2022年）12月に発刊予定の保険学雑誌では、以下のとおりの特集を予定しています。つきましては、会員諸氏からの投稿を募集しますので、奮って応募してください。

### 1. 企画理由

この約2年間、コロナウィルスの影響が世界の経済・経営を覆っている。一国の経済活動、国際交流そして観光・物流に大きな影響を及ぼすほかに、人々の働き方と生活スタイルへの影響も甚大である。アフターコロナ、ウィズコロナをめぐる動きも活発である。

こうしたなかで、生命保険業、損害保険業そして共済事業は業界を挙げての対応に迫られている。コロナウィルスは医療供給体制だけでなく、罹患時点や自宅待機時における生活保障とも関連し、民間の医療保険や収入保障保険への影響も大きい。またコロナ罹患者への保険金支払いについても特段の工夫が施されている。パンデミックリスクに対する保険業界の対応を整理し、その課題を研究することは、保険実務だけでなく、保険契約理論や保険経営理論の観点からも必要不可欠である。この点については、各国の保険業界の対応を知ることも大いに参考になる。一方で保険業務や保険会社の販売にも変革の契機となり、インターネットなどを通じた通信販売への動きが加速化することになる。それは既存の販売網や販売チャネルの見直しにもつながる。こうした動向は保険技術革新としての InsurTech や DX 構想とも関連してくる。個社の事例を参考にしながら、アフターコロナ、ウィズコロナにおける業界全体の事業革新を考えることも重要になる。

コロナ禍における内外の保険業の動向について考察することは極めて有益であると考えられるので、保険学雑誌『コロナ禍における保険業の役割と今後の展開（特集号）』を組むこととした（2022年12月刊行予定）。

### 2. 募集内容

#### （1）募集する論文

コロナ禍における保険業の役割と今後の展開に関する事象を分析・検討する

学術論文

## (2) 募集対象者

会員諸氏から広く執筆希望者を募ることとする。そのうえで、編集委員会が論題のバランス等を考慮しながら執筆依頼者を選定して、原稿の執筆を依頼する。したがって、論文の種類としては、「依頼論文」となる。

なお、「依頼論文」であるので、当学会の大会と部会における報告は、投稿要件ではない。ただし、執筆者が希望する場合には、当学会の大会と部会において、投稿内容について事前に発表報告することも可とする。

## (3) 特集(号)全体の構成

いかなる論文執筆希望が会員諸氏から表明されるか不明であるので、会員諸氏からの執筆希望をとりまとめたうえで、全体の構成等を決定する予定である。

なお、当学会の大会と部会における報告にもとづく論文のうちコロナ禍における保険業の役割と今後の展開に関するものも、本特集(号)に併せて掲載する可能性がある。

## (4) 執筆要領

保険学雑誌編集方針(保険学雑誌や学会ウェブサイトに掲載)のとおり(刷り上り原則20頁以内、最大30頁)。

## 3. 刊行スケジュール

(1) 執筆希望者募集：2021年12月(保険学雑誌および学会ウェブサイト)

(2) 執筆希望者募集締め切り：2022年3月23日(水)

(3) 執筆依頼者決定：2022年4月

(4) 執筆依頼：2022年4月

(5) 原稿締切：2022年8月末

(6) 刊行：2022年12月

## 4. 応募要領

執筆を希望する会員は、次の事項を、2022年3月23日(水曜日)までに、学会事務局に連絡ください。

なお、執筆を希望する場合であっても、原稿執筆を依頼しない場合があり得ることをお含み置きください(上記2(2)参照)。

① 氏名：

② 所属：

③ 役職：

④ テーマ(仮題)：

(締め切り) 2022年3月23日(水曜日)

(連絡先) [gakkai@jsis365.onmicrosoft.com](mailto:gakkai@jsis365.onmicrosoft.com)